

安全データシート

作成日 2019/09/05

改訂日 2019/10/10

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ハードライン専用反射材
供給者の会社名称	アトムサポート株式会社
住所	174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6
担当部門	営業本部
電話番号	03-3969-3160
FAX 番号	03-3969-3165
緊急連絡電話番号	管理本部 03-3969-3160
推奨用途及び使用上の制限	家庭用塗料用

2. 危険有害性の要約

GHS分類	分類対象外
健康有害性	粉じんを長期間又は度重なる吸入によって、呼吸器系障害を生じる恐れがある。
環境有害性	知見なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	単一製品(ガラス表面にカップリング剤による撥水処理有り)
化学名又は一般名	ソーダ石灰ガラス
含有率	ソーダ石灰ガラス >99wt% ジメトキシシラン <0.1wt%
官報公示整理番号	対象外
Cas No.	65997-17-3

4. 応急措置

吸入した場合	風通しの良い新鮮な空気のある場所へ移動し、気分が悪い場合は、医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	払い落して清水で洗浄する。かぶれたときは、医師の診断を受けること。
眼に入った場合	眼をこすってはならない。異物感がなくなるまで清水で洗浄する。 かゆみや痛みなどが続く場合は医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	清水でよくすすぐこと。気分が悪い場合は、医師の診断を受けること。
急性症状及び遅発性症状	知見なし

5. 火災時の措置

消火剤	各種の消火剤を使用できる。周囲の状況(発火原因など)に応じて、適切な消火剤を選定する。
使ってはならない	なし
消火剤	
特有の消化方法	製品の飛散に注意すること。
消化を行うものの保護	状況に応じた保護具(自給式呼吸器、防災服、防災面など)を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	漏洩した周囲にロープを張るなどして、関係者以外の立入を禁止し、風下の人を避難させる。処理作業は、保護具(防じんマスク、保護メガネ、手袋)を着用すること。
環境に対する注意事項	下水、河川、排水溝などに流してはならない。
封じ込め及び浄化方法	粉じんが飛散しないよう、風上から静かに清掃し除去する。 容器包装が破損したときは、テープなどで目張りして再漏出を防止すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	防じんマスク(国家検定品)、粉じん作業用保護メガネ(ゴーグルタイプが望ましい)及び保護手袋(軽作業用)を着用し、風通しの良い場所、又は換気装置のある場所で行うこと。 こぼすと滑るので、直ぐに除去すること。みだりに粉じんを発生させない。また、粉じんを吸い込まないようにすること。
保管	高温多湿とならない屋内に保管し、開封後は、容器包装を常に閉じて乾燥した状態を保つこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	3.0mg/m ³ (遊離けい酸含有率 0%)
許容濃度	第二種粉じん 吸入性粉じん 1mg/m ³ 、総粉じん 4mg/m ³ (日本産業衛生学会)
設備対策	密閉された装置又は局所排気装置
保護具	
呼吸器の保護具	防じんマスク(国家検定品)
手の保護具	軽作業用手袋
眼の保護具	保護メガネ(ゴーグルタイプが望ましい)
皮膚及び身体の保護具	長袖作業服

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态	固体
色、形状	透明(白色)粉体
臭い	無臭
軟化点	約 720℃
比重	約 2.5
溶解度	水、有機溶剤に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性	通常のと扱い条件下では安定。
危険有害反応可能性	フッ酸、強アルカリに侵される。
避けるべき条件	知見なし
混触危険物質	フッ酸、強アルカリ
危険有害な分解生成物	知見なし

11. 有害性情報

急性毒性	知見なし
------	------

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	知見なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	知見なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	知見なし
生殖細胞変異原性	知見なし
発がん性	知見なし
生殖毒性	知見なし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	知見なし
特定標的臓器毒性、反復ばく露	知見なし
吸引性呼吸器有害性	知見なし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	知見なし
残留性・分解性	知見なし
生態蓄積性	知見なし
土壤中の移動性	知見なし
オゾン層への有害性	知見なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の「ガラスくず」に該当。 地方自治体の基準に従い、飛散防止を行った上で処分すること。
汚染容器及び包装	容器は洗浄して再利用するか、地方自治体の基準に従い処分すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	国連分類に該当しない。
国内規制	規制なし
輸送上の安全対策	転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。 容器包装が破損し漏洩ときは、6. 漏出時の措置により対応する。

1 5. 適用法令

じん肺法、及び労働安全衛生法 粉じん障害防止規制において、「鉱物」に該当し、作業内容によっては適用を受ける。

1 6. その他の情報

引用文献	粉じん障害予防規制の解説 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム
------	---